

平成26年度 一般会計予算

過去最高

316億1413万円

市債残高は10年ぶりに増加

平成26年第1回(3月)定例会は2月24日に招集され、3月18日までの23日間の会期で開催されました。

平成26年度一般会計予算など30議案を審議

平成26年度一般会計予算の審査にあたり本市議会では議員全員による予算審査特別委員会を設置し、歳入歳出すべてに渡り、執行部に詳細な説明を求め審査を行った。

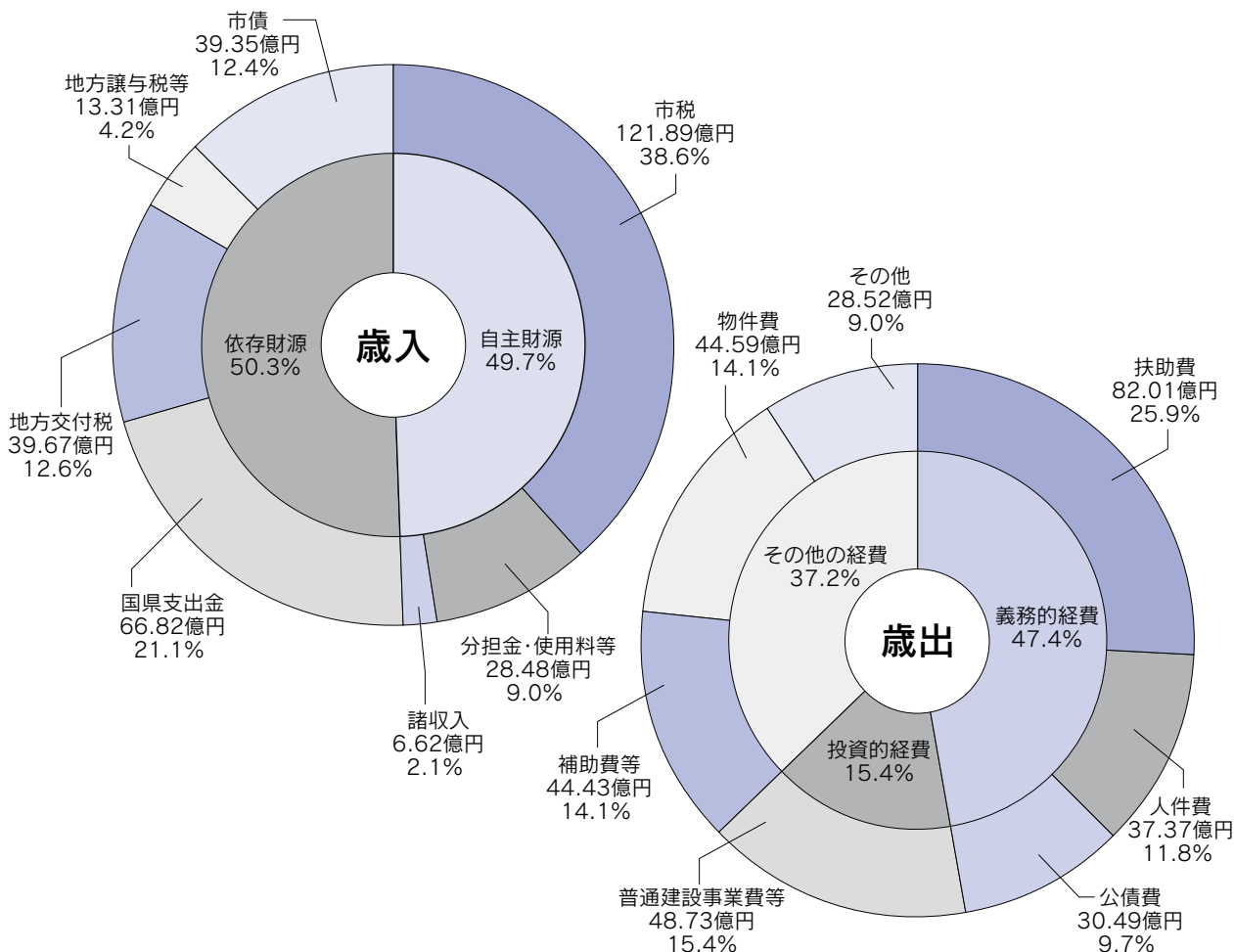
〔歳入〕

自主財源の根幹をなす市税は約121億9千万円と、対前年度比2.9%の増となっており、実質的な地方交付税は対前年度比7.0%減の約55億5千万円となった。

市債(市の借金)の起債額は対前年度比78.4%の大幅増の約39億3千万円となっている。これにより平成26年度末の市債残高は約285億6千万円と一般会計では10年ぶりに増加へ転じる。

〔歳出〕

昨年同様人件費は減であるものの扶助費は約1億3千万円の増。また公債費は償還元金の増により増加をしている。またスポーツセンター整備事業の本格化や地区公民館等の老朽化対策等により、投資的経費は対前年度比79.2%増の約48億7千万円となっている。



新たに始まる事業

保護者負担の軽減へ

◎子ども医療費支給拡大

～児童の健全育成に～

◎365日対応病児保育補助事業

◎水痘ワクチン予防接種事業

～子育てのしやすい環境へ～

◎子育て情報誌作成事業

～健康保持・増進へ～

◎がん検診無料クーポン券再配布

事業

～歴史的財産の有効活用を～

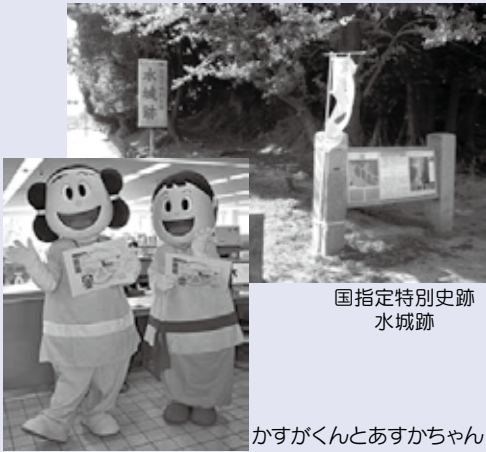
◎国指定特別史跡水城跡保存管理

計画策定事業

◎奴国読本作成配布事業

～もつと親しみやすく～

◎かすがくん・あすかちゃん着ぐるみ及びデザイン製作事業



かすがくんとあすかちゃん

平成26年度春日市当初予算における各会計の予算額は、以下のとおりです。

	(本年度予算額)	(対前年度比)
一般会計	316億1413万円	+ 9.2%
国民健康保険事業特別会計	105億2928万円	▲ 1.3%
後期高齢者医療事業特別会計	11億6100万円	+ 2.3%
介護保険事業特別会計	55億7594万円	+ 7.4%
下水道事業会計	42億1715万円	+ 20.0%
(全 会 計 合 計)	530億9750万円	+ 7.3%

平成25年度一般会計補正予算は
6億7197万円

国からの社会資本整備総合交付金(道路・都市公園・住宅)や学校施設環境改善交付金を活用して、来年度も継続して社会資本の整備を行うとした平成25年度一般会計補正予算(第7号)の審査を行った。

歳入歳出とも6億7197万円を増額し、補正後の平成25年度一般会計予算は約306億2千万円となった。

「臨時福祉給付金」
「子育て世帯臨時特例給付金」
事業開始

消費増税に対応する国の給付金制度「臨時福祉給付金」及び「子育て世帯臨時特例給付金」事業が開始される。これらにより、歳入歳出とも4億4千万円を増額し、補正後の平成26年度一般会計予算は約320億6千万円となった。

どちらの制度も、対象者等がわかりにくいため、今後、市からのお知らせにご注意ください。

(仮称)総合スポーツセンター工事費は
総額40億6934万円

第26号議案において現在工事中の(仮称)総合スポーツセンターの工事契約の一部変更が審議された。これは事前の調査では判明しなかった湧水が現場から確認され、基礎工事並びに躯体工事の内容に変更が生じたものである。

執行部に対し、事前調査に相当な時間をかけたにも関わらずこうした事態を予見できなかったことやその後の対応に強い批判もあったが、工期と工事費への影響を考慮し、全員賛成で同意された。

道路等整備基金設立へ

市内で福岡県が施行する都市計画道路事業等を効果的にかつ円滑に推進するための基金を設置する第7号議案「春日市県施行都市計画道路等整備基金条例の制定について」が上程され審議を行った。

対象となるのは長浜太宰府線と那珂川宇美線の未整備区間で、賛成多数で可決された。